



全国高校生英語ディベート大会北陸ブロック予選で優勝した藤島Aのメンバー＝18日、福井市の藤島高

藤島A初の北陸予選V

高校生英語ディベート

12月、福井での全国大会へ

全国高校生英語ディベート大会の初の北陸ブロック予選が16日、坂井市の県教育総合研究所であり、藤島Aが優勝し12月に福井市で開かれる全国大会出場を決めた。生徒たちは「開催県優勝を目指す」と意気込んでいる。

全国大会は各都道府県の代表校やブロック予選の優勝校が出場する。県内の高校は昨年まで関西や甲信越のブロック予選に参加していたが、今年は県高校教育研究会英語部会が北陸ブロック予選を初開催した。

5県20チームが参加し、各チーム4試合の予選を行った。3月に発表された論題「日本国は本人の意思による積極的

安楽死を合法化すべきか否か」で、肯定側と否定側に分かれて議論した。決勝で富山県の高校と対戦した藤島Aは、審判の5票中4票を獲得した。藤島Aは4月に創部したSSH国際教養部の2年生4人がメンバー。部長の澤崎遥夏さんがベストディベーターに選ばれた。昨年の全国大会にも出場した高崎千実さんは「昨年は10位と悔しい思いをした。今年は優勝したい」と話している。

全国大会に出場できるのは1校1チームで、藤島以外の代表2校を決める県予選は11月11日に開かれる。全国大会は12月15、16日に福井市の福井工大で行われる。(小林真也)